



松竹株式会社と日本電信電話株式会社の業務提携について ～ ICT を用いた新たな歌舞伎の商用公演等を共同実施～

松竹株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：迫本 淳一、以下、松竹）と日本電信電話株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鶴浦 博夫、以下、NTT）は、歌舞伎をはじめとしたエンターテインメントビジネスの実現に向け、歌舞伎と最新の ICT 技術のコラボレーションによる、新たな歌舞伎の商用公演（興行）を共同で実施する業務提携を行うことで合意しました。

1. 協業の目的・背景

松竹が手がける日本の伝統文化の一つである歌舞伎は、長らく「伝統」と「革新」の両輪を回し、幅を広げ、ファンの開拓、活性化につなげてきたところであり、松竹と NTT は 2016 年以降、新たな歌舞伎鑑賞の提案を目指した共同実験を通じて、離れた場所でもまるで目の前で演じているかのような歌舞伎映像を鑑賞できる「歌舞伎シアター バーチャル座」や、リアルとバーチャルが融合した世界初の歌舞伎舞踊「京結夢現連獅子（みやこむすびゆめのれんじし）」などを行ってまいりました。このたび、その取り組みを更に進めて、実際の歌舞伎公演等における ICT の活用を深化させることで、集客力を高め、事業性の向上を図り、新たなエンターテインメントビジネスの実現を目指していくことで合意しました。

2. 業務提携の内容

松竹が保有、経営する京都南座が、大規模改修工事を経て 2018 年 11 月に新開場することを捉え、2019～2021 年の 3 年間に於いて、従来から両社で実施している実証実験に加え、ICT を活用した歌舞伎等の松竹・NTT による共同公演を南座から実施し、順次拡大を図ってまいります。本共同公演では、NTT の研究所が開発したイマーシブテレプレゼンス技術「Kirari!」（※1）等の技術を活用することで、出演者が観覧者の目の前であつと驚く映像・音響演出を実現し、歌舞伎の楽しみ方を広げる新たな「おもてなし」を提供していきます。これにより、従来実現しえなかった、リアルな歌舞伎俳優と擬似 3D 虚像との共演なども実現可能となります。リアルとバーチャルが相互に補完しあうことを通じて、日本文化の伝統を継承しつつ新たなマーケットの創出につなげてまいります。また、革新的な UI（ユーザーインターフェース）・メディア技術を応用した新しい情報提示技術、情報配信技術を用いて、顧客満足度向上を図るとともに、新たなエンターテインメントビジネスを視野に入れた劇場空間の活用・体験型コンテンツの製作も検討してまいります。

これら共同公演の詳細は、両社で今後検討していく予定です。

（※1）NTT が開発する、あたかもその場にいるかのような体験をあらゆる場所で感じることができる世界を目指すイマーシブテレプレゼンス技術

3. 今後の展開

2019～2021 年の 3 年間の共同公演等によりビジネス性を検証し、歌舞伎およびその他のエンターテインメントと ICT との融合によるビジネス拡大を目指していく予定です。「インバウンド」「若い世代」等の新たなマーケットでの様々な事業機会にも対応できるよう両社でエンターテインメント分野の知見を、蓄積してまいります。

以上

【本件に対する問い合わせ先】

松竹株式会社 演劇本部開発企画部開発企画スタッフ TEL：03-5550-1359

日本電信電話株式会社 研究企画部門プロデュース担当 TEL：03-6838-5382